

科目名	土木材料実験							年度	2025
英語科目名	Civil engineering material experiment							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 1 年次	必／選	選1	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	奥山 新吾	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		
【科目の目的】 土木工学における基本的な材料の性質と特性を理解し、それらを正確に評価・分析するための実験技術を習得することです。学生はこの科目を通じて能力を身に付けることを目指します									
【科目の概要】 コンクリート、鋼材、土質などの実験を通して、土木材料のそれぞれの性質を学びます。									
【到達目標】 正確に試験を行ない、試験結果より得られたデータから各材料の品質特性を理解する。									
【授業の注意点】 授業中の私語などには厳しく対応する。ゴーグルや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	実験プロセスを改善し、効率的に実施できる。		独立して実験を行い、小さな問題に対処できる。			基本的な実験手順を理解し、指示に従って操作できる。			
到達目標 B	解析結果から高度な結論を導き、データの不確実性を評価する。		データを詳細に解析し、傾向を識別できる。			実験データを記録し、基本的な解析を行う。			
到達目標 C	全体的な評価と改善提案を組み入れた包括的な報告書を作成する。		論理的に整理された報告書を作成し、解析結果を含む。			実験の基本的な結果を報告し、フォーマットに従う。			
【教科書】 配布プリント等									
【参考資料】 配布資料による									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み、課題の到達度などを総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

